

人間ばん馬とクラフトのまち おけと

議会だより

2014.8.1

vol

171

発行 / 置戸町議会

編集 / 議会広報特別委員会



置戸消防団消防演習（操法展示訓練）

おもな内容

6月の第4回定例会

- ・ 条例、補正予算など…………… 2～3P
- ・ 議員研修会、議員懇談会など…………… 4P
- ・ 一般質問（5議員）…………… 5～9P

7月の第5回臨時会 …………… 3P

委員会の活動状況 …………… 10P

■一般質問の項目

- ▶ 町民健診にてピロリ菌検査を実施しては……………/竹内議員
- ▶ 町立図書館設置条例の再制定を……………外1件/佐藤議員
- ▶ 町の活力を図るための職員の奮起と町長のリーダーシップは……………/細川議員
- ▶ 地域間交流の地域間バスの構築は……………外1件/岩藤議員
- ▶ 農業用GPS補正システムの構築、普及について……………/嘉藤議員

6月定例議会

平成26年第4回定例会は、6月16日から17日まで開催され、5議員の一般質問と条例、改正、各会計の補正予算、規約、同意等を審議・可決し、閉会しました。

条例

置戸町税条例等の一部を

改正
— 原案可決 —

地方税法の一部改正に伴い、法人町民税の引下げ、軽自動車税の引上げ、町民税課税の特例の延長、固定資産税課税の特例の見直しと創設をしました。

置戸町国民健康保険税条例の一部を改正
— 原案可決 —

地方税法の一部改正に伴い、賦課限度額の引上げ、低所得者に対する軽減措置の拡充、また税率の改正を行いました。

規約

北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について
— 原案可決 —

北海道市町村総合事務組合規約の変更について

— 原案可決 —
組合を組織する地方公共団体等の追加・削除により変更を行うものです。

補正予算

置戸町一般会計補正予算
— 原案可決 —

歳入歳出予算を4,369万9千円追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ39億4,069万9千円としました。

置戸町国民健康保険特別会計補正予算
— 原案可決 —

歳入歳出予算を28万4千円追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ5億1,358万4千円としました。

専決処分

平成25年度置戸町一般会計補正予算
— 承認 —

議会招集の時間的余裕がないことにより専決処分とした補正予算は、地方交付税の追加等により減債基金積立金を増額して、歳入歳出をそれぞれ4,071万4千円追加、歳入歳出予算の総額を49億4,002万1千円としました。

平成25年度置戸町一般会計補正予算
— 承認 —

議会招集の時間的余裕がないことにより専決処分とした補正予算は、置戸中学校耐震補強及び大規模改修工事のための町債が発行できなくなることにより、減債基金積立

金に積む予定の1億9,170万円を財源としたことにより、歳入歳出をそれぞれ1億9,170万円減額、歳入歳出予算の総額を47億4,832万1千円としました。

要望意見書

議員から提出された1件の要望意見書を審議の結果、原案のとおり可決し、内閣総理大臣をはじめ関係各大臣等に提出することにしました。

▽規制改革会議意見書の取扱いに関する要望意見書
— 原案可決 —

同意

置戸町固定資産評価審査委員会委員の選任
— 原案同意 —

平成26年6月27日をもって任期満了となる置戸町固定資産評価審査委員会委員遠藤弘文氏(字川南)の再任に同意しました。

■一般会計補正内訳

(単位：千円)

主な補正内容	補正額	増減
臨時福祉給付金に要する経費	16,125	増額
地域福祉センター管理に要する経費(天窓改修工事)	1,950	増額
子育て世帯臨時特例給付金に要する経費	3,184	増額
住宅用太陽光発電システム設置費補助金	1,400	増額
強い農業づくり事業(経営体の育成)補助金	3,000	増額
町道雄勝訓子府線落石防止処理工事	5,400	増額
北見地区消防組合負担金	5,772	増額
給与費	6,405	増額

推薦

農業委員の推薦

— 推薦決定 —

農業委員会等に関する法律の規定により、議会推薦の農業委員を2名とし、安西昇氏（字豊住）と小林満氏（字拓殖）を推薦することに決定しました。

報告

平成25年度置戸町繰越明許費繰越計算書について

— 承認 —

平成25年度置戸町一般会計に計上された道営草地整備事業など4件の事業費5億513万9千円について、当該年度での事業実施が不可能なため、翌年度に繰り越しました。

平成25年度置戸町事故繰越し繰越計算書について

— 承認 —

平成25年度置戸町下水道特別会計に計上された置戸浄化

センター改築更新工事の事業費3,395万6千円について、当該年度での事業実施が不可能なため、翌年度に繰り越しました。

専決処分報告

— 報告済 —

自動車事故による損害賠償額について報告がありました。

・ 損害賠償額

1万5,240円

例月出納検査の結果報告

— 報告済 —

監査委員から、平成26年2月28日、3月31日、4月30日現在の出納検査について、検査の結果、現金の出納及び保管は適正に行われたものと報告がありました。

その他

財産の取得について

— 原案可決 —

車椅子式入浴装置一式を取得するものです。

・ 契約金額

896万4千円

・ 契約相手

三好メディカル株式会社

置戸浄化センター改築更新工事委託に関する協定の締結について

— 原案可決 —

置戸浄化センター改築更新実施設計及び工事を委託するものです。

・ 委託協定金額

5,200万円

・ 委託協定相手

日本下水道事業団

議員の派遣について

— 原案決定 —

▽北海道町村議会議長会主催

議員研修会

平成26年7月3日から2日

間〓札幌市（全議員）

▽北海道町村議会広報研修会

平成26年8月21日から2日

間〓札幌市（議会広報特別

委員会が決定する2名）

平成26年 第5回 臨時会

7月1日開催

置戸町一般会計補正予算及び請負契約の締結、同意について審議可決しました。

補正予算

▽平成26年度置戸町一般会計補正予算 — 原案可決 —

今回の補正は簡易水道特別会計繰出金65万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ39億4,134万9千円としました。

▽平成26年度置戸町簡易水道特別会計補正予算

— 原案可決 —

今回の補正は秋田簡易水道施設管理に要する経費65万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ7億7,535万円としました。

その他

▽工事請負契約の締結について — 原案可決 —

①公営住宅建設工事

・ 契約金額

6,296万4千円

・ 契約相手

北進工業株式会社

②勝山安住配水池外建設工事

・ 契約金額

2億4,192万円

・ 契約相手

遠藤組・天内工業経常

建設共同企業体

同意

▽置戸町監査委員の選任につ

いて

— 原案同意 —

平成26年6月30日で辞任された議会選出監査委員の小林満氏の後任として、高谷勲氏（字川南）の選任に同意しました。

置高福祉科をPR

本年度も全道町村議会議員研修に出席した議員が、7月4日5班に分かれ、札幌市内5ヶ所の中学校を訪問し、置戸高校福祉科のPR活動をしてきました。

道立高校唯一の福祉科単置校で、最短で介護福祉士の国

家資格が取得できる学校であり、100%の合格率となっていることと、昨年に引き続き札幌で学校説明会を2回計画しているため、多くの生徒が参加くださるようPRして

きました。

北海道町村議会議員研修会

北海道町村議会議長会主催の議員研修会が7月4日札幌市コンベンションセンターで開催されました。

全道から約1,600名の町村議会議員が参加し、置戸町からも10名の全議員が参加してきました。

研修会は、萬和男会長の開

講のあいさつで始まり、法政大学法学部教授廣瀬克哉氏による「議会改革のこれから」と、読売新聞特別編集委員橋本五郎氏による「これからの日本の政治」について講演がありました。



札幌市(7/4) コンベンションセンターにて

高山市議会・南幌町議会視察

7月1日に岐阜県高山市議会議員(市政クラブ)9名が人間ばん馬の取り組み、ぼっぼ絵画館について、7月11日には南幌町議会議員10名が地遊人制度、元気なまちづくり

活動支援事業について調査のため来町されました。

担当者から説明を受け、質疑・意見交換を行い、また施設を見学し視察を終えました。

▼南幌町議会は議員10名のうち4名が女性議員でした。



議会懇談会

議会懇談会を7月9日、10日、14日、15日の4日間各地区で開催しました。町民の皆さんと直接意見交換ができる機会として議会に対する意見をいただくために実施しました。

平成25年議会活動の概要と議会構成について報告した後、「議員定数について」を主なテーマとして意見交換を行いました。

議員定数に関しては町民の皆さまからいただいた意見をもとに、議員定数に関する特別委員会でも慎重に審議をし、9月定例会までに一定の結論が出せるよう協議を進めます。

…お願い…

議長の案内など公的な文書は、必ず議会事務局にお届け願います。



竹内雅俊議員

町民健診にてピロリ菌検査を実施しては

町長 町民健診の受診率を高め、早期発見を



◀ 健診の前には、ていねいな説明があります。

Q 現在日本人の病気による死亡要因の1位は肺がんであり、次に胃がんであり、その胃がんの要因の

一つがピロリ菌と言われている。美幌町では臨床研究の一環として経費負担をし、中学生

を対象に検査を行い、陽性が出れば投薬による除菌を予定しています。また、福島町でも平成24年度と25年度に中学生と高校生、新成人を対象に実施しております。

そこで置戸町でも町民健診に追加して実施することが、胃がんを減らすために必要だと思いますが、考えを伺います。

A ピロリ菌は、慢性胃炎、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃がん等と密接な関係がある細菌と言われています。また感染経路については、明白ではありませんが、50歳以上の人で感染している割合が高く、日本でのピロリ菌感染者は、3,000万人以上とも言われています。しかし、上下水道の普及など衛生環境が整ったことから、感染割合は年々減少しており、さらに今後減っていくと予想されています。

そこで、このピロリ菌の除菌、治療がありますが、胃潰瘍あるいは十二指腸潰瘍、ま

た早期の胃がんの治療などの症状が進んだ状態のほか、ピロリ菌による慢性胃炎の方にも保険の適用範囲が広がられました。置戸赤十字病院におきましても検査あるいは除菌などの治療が可能です。

平成25年度にがんで亡くなられた方は、置戸町では17名(全体の29%)となっています。その中で胃がんが原因で亡くなられた方は1名です。先進的な取り組みとして参考にさせていただきます。とは思いますが、本町における町民健診の胃がん受診率は残念ながら30%であります。

保健師による日常的な健康診断、あるいは健康教育、さらには広報を通しての周知等様々を行っています。このような状況であります。今は町民健診の一層の充実を図っていくこと、そして受診率を高め、がん治療には最も重要な早期発見に繋げていきたいと思っております。



佐藤勇治議員

町立図書館設置条例の再制定を

町長 来年4月1日の復活に向け作業を進めたい

Q 置戸の図書館は、昭和28年6月に町立図書館条例を制定し、全国的にも先進的な取り組みをしたことから、昭和39年全国7つの農村モデル図書館の中のひとつとして栄町内に建設いたしました。建物の老朽化などにより、平成17年に現在の生涯学習情報センターに改築されましたが、財源対策の課題があり、多くの図書館機能を有しつつも、町民の生涯にわたる学習機能を広く提供する施設として、やむなく図書館条例を廃止し、置戸町生涯学習情報センター条例を制定しました。

A 昭和39年道内唯一の農村モデル図書館として新築、翌年1月には開館して多くの町民に親しまれ、町村図書館の模範であると全国にも知られるようになったのですが、築40年近くを迎え老朽化も目立ち、改築要望がありまして、総合計画、過疎計画にも計画を盛り込みました。図書館の改築にあたり、当時財源確保の目処が立たず、財源対策上図書館条例を廃止せざるを得ない状況でした。現在は平成22年の過疎地域自立特別措置法の改正により、図書館も過疎債の対象施設に復活し、過疎地域での図書館建設を促進させることが出来るようになっていきます。過疎債償還を待つて名称変更できないか調べましたが、平成27年に処分制限が解除されることから、関係機関と協議し、来年4月1日の図書館条例復活を目指し作業、手続きに入っていきます。

▼生涯学習情報センター



町外からの通勤者の実態と定住対策は

町長 ニーズ調査をして様々な観点から検討していく

Q ここ数年、町外からの通勤者を多く見かけますが、一人でも、一世帯でも町内に居住させる手立てはなにかと感じます。

A 町外からの通勤者の実態の検証と、定住化を図るためにはどのようなニーズがあるか、町外から通勤しなければならぬ事情はなにか、それを克服するための改善点はないか、人口減少の歯止め対策のひとつとして具体的な検討と対応を早急に構築すべきと思いますが、町長の考えを伺います。

併・統合が進んでいることから、職員の異動が広範囲であること、すでに住宅を所有している方、子どもの通学、進学の関係など様々な原因が考えられます。職員住宅を所有している事業所の責任者には、そこへの居住について、ぜひ意を用いてほしいと伝えていくところでもあります。定住対策として、本町に住んでいる方がこれからも安心して住んでいただけるように、公営住宅の建設、あるいは住宅の新築や改修への助成、宅地分譲等を行っておりますが、町内の住宅事情はこれからの人口動向に大きく関係してきます。

A 町外からの通勤者の実態について、町内10カ所の事業所等に問い合わせをした結果では、職員等381名中112名が町外から通勤しているとのこと。有資格者など町内での人材確保が難しい現状だが、経営の合理化を図るための事業所の合

町外からの通勤者への対応についても、今後のニーズを調査しながら、あるいは住宅状況を把握しながら、さらには福祉や教育などの観点からも合わせて検討したいと思います。



細川昭夫議員

町の活力を因るための職員の奮起と町長のリーダーシップは

町長 前例にとらわれない構想力と将来を担う人材の育成に努める

Q 地方自治体消滅が警鐘を打ち出した今、町の活性化を生み出す職員の指導について、主に次の3点を中心にお尋ねをいたします。

一つ目には、芽を摘まないで士気高揚につながる指導を。二つ目には、能力を生かすためには減点評価から加点評価へ。三つ目には、先例主義、村社会、縦割り行政からの脱却、そのための課長会議の成果を。

日本創成会議は今年の5月に、「人口の減少と東京での集中がそのまま続けば、日本の半数の市区町村では行政サービスの継続が困難になると公表しました。地方に暮らす私たちには一つの警鐘として考える契機にしなければいけないと思いますが、決して町が消滅するとは考えていません。ただ、旧態依然の行政運営を続けていけば、消滅はないとしても限りなく死に体に近づくことを危惧しています。職員各自が、あきらめや自信喪失、退廃ムードの蔓延を断ち切り、希望に満ち

自信と誇りを持たなければなりません。まず考える機能を取り戻し、町づくりはもとより、町内会活動や、地域活動など積極的に参加し、職員が生き生きと躍動感を持って行政を担っている姿を住民は期待しています。その総責任者である町長に答弁をお願いいたします。

A 職員が町づくりの先頭に立ち、大きなけん引車にならないといふのは当然のことだと思います。日本創成会議の人口減少問題検討分科会が人口推計をしたところ、全国自治体の約半数に当たる自治体が、有効な手を打たなければ将来消える可能性があると発表しました。これは少子化が進む日本が抱える最大の課題であると認識しております。一つの自治体の努力では解決できない大きな課題でもあると思います。しかし、このような状況の中で、いかに人口減少を食い止める、あるいは活力のある町づ

くりを進めるかということ、町として、また町職員として当然の課題であり、責務であると思います。そのために、日頃から研修など職員の資質向上を図るべく努めておりますが、職員に対しても常に構想力を磨き、仕事に誇りを持ち町づくりに貢献できる職員として、業務に当たるよう課長会議や日常において申し上げます。

具体的には、職員の提案制度による健やか子育て応援事業、住宅用の太陽光発電のシステムに対する補助事業、あるいは元気なまちづくりの活動支援事業、高齢者等の住宅改修費の助成事業など、職員の先例にとらわれない発想から生まれた事業もあります。また、課長会議が政策課題あるいは懸念の事項について協議をする場として、今後においても積極的な議論の場として機能させていきたいと考えております。

職員全員が価値観を共有し、一体化した組織としての確立が重要であり、地域や自治会の中で職員を育てることも必要であると思っております。このためにも、将来の置戸町を担う人材の育成に今後とも積極的に取り組んでいきたいと考えております。

▼役場の仕事で不明なことがあれば、まずは1階窓口でお尋ねください。



度による健やか子育て応援事業、住宅用の太陽光発電のシステムに対する補助事業、あるいは元気なまちづくりの活動支援事業、高齢者等の住宅改修費の助成事業など、職員の先例にとらわれない発想から生まれた事業もあります。また、課長会議が政策課題あるいは懸念の事項について協議をする場として、今後においても積極的な議論の場として機能させていきたいと考えております。



岩藤孝一議員

地域間交流の地域間バスの構築は

町長 100周年の締めくくりには間に合うよう
検討する

▶病院への患者輸送車



Q 少子高齢化、人口の流出、強いては住みよい町づくりのための足の確保、病院や買い物などへの利便性を図る必要があると思っております。地域間交流のインフラ整備が必要であり、地域間交流の地域間バスのようなものを置戸町内で構築する考えはないか、町長に伺います。

A 本町で実施している交通対策では、昭和45年から町内の医療機関に通院する方への交通手段として、へ

き地患者輸送車を運行しております。町内を五つの地域に分け、週1回〜2回の運行をしています。このほかに、身体的な理由で外出が困難な高齢の方に介護輸送サービス事業として、町内の通院あるいはリハビリ、シヨートステイ利用時の足としてリフト付きワゴン車、また疾病などを抱える高齢の方や、重度身体障害の方の通院あるいは外出時の送迎として、社会福祉協議会が実施しております。ハイヤーチケット交付事業などの支援をしています。

本町は過疎化が進む中、高齢化率も40%を超えております。創成会議の人口試算は大変インパクトの大きな話題でもありますし、課題でもあります。

そこで、ご提案のありました地域間バスについてであります。交通手段に不安を抱える方は増加傾向にあるため、早急な対策が必要な時期を迎えていると思えます。現行事業の検証を行ったうえで、他の市町村での導入事例も参考

にしながら、置戸町の実態に合った地域間バスの導入につ

いて、検討を進めたいと考えております。

町長専用公用車の更新と今後の運行体制は

町長 大きな故障がなければ更新は考えていない

Q 町長専用の公用車は平成7年登録、20万キロを超えた走行距離と聞いております。また、以前は施設整備課の職員が運転手として運行を担ってきましたが、現在は総務課での対応となっております。この公用車も19年を経て、今年9月には車検とのこととあります。そこで、今後の公用車の更新も含め運行体制をどうするのか、町長に伺います。

A 町長専用の公用車でありませんが、平成7年9月に更新購入から19年が経過します。走行距離は現在25万7千キロを超えておりますが、主な行先はオホーツク管内がほとんどでありますし、年間走行距離は平均1万3000キロ程度であり

ます。また、運転業務につきましては、これまで施設整備課の車両専門職員が運転を担ってきましたが、職員が3月に退職後は一般職の対応とし、総務課職員がその任に当たっております。この車両の状態ではありますが、経年劣化等による消耗は随所に出ておりますが、修繕で対応しておりますので、現状としては運行に支障をきたすことはありません。使用年数、走行距離ともに更新時期に来ていると思えますが、定期点検や修繕により現状で走行可能と判断しているところであります。しかし、大きな障害、故障があった場合は更新を提案させていただきます。また、運行体制については当面現状通り続けていきたいと考えております。



嘉藤 均議員

農業用GPS補正システムの構築、普及について

町長 導入を見極めるため、農地の大区画化と
土壌診断を

Q 7～8年前から農業分野において、GPSを利用してトラクターや農作業機に高精度の作業を実施している例が多数見受けられます。例えば無人の田植えロボットや自動で畑を耕したり畝を切ったり播種をする、あるいは肥料や農薬を正確に散布するなど、あらゆる分野の利用が可能です。

このシステムを利用することにより作業の効率化や省力化、労働負担の軽減や安全性、化学肥料や農薬の適正施用などが期待できます。

置戸町でも現在10件前後の導入があると聞いています。他町においてもモデル事業で導入し固定局を設置した例もあると聞いています。

今後の農業振興において有効と思いますので、将来に向けて情報の収集や関係機関との連携が今から必要と考えます。町長の考えをお聞かせください。

A GPS全地球測位システムですが、これはカーナビや携帯電話など身近な生活に普及しております。トラクター用のGPSとして農業分野にも利用が年々進んできております。北海道農政部によりますと、平成20年度から24年度までの5年間にこのシステムの出荷状況は全国で2,540台であり、北海道では2,340台と道内が圧倒的に多く、平成24年度には830台が道内出荷となっています。

町内では10台程度の導入があると推測されます。GPSには2種類あり、DGPS方式とRTKGPS方式で、前者の方式は施肥や防除作業に利用され価格は30～50万円前後と聞いています。後者の方式は畝切りや移植作業に利用され精度が高く価格は100万円程度です。GPS補正システムですが、この方式を導入するためには簡易基地局が必要であり、標準的な設置費用で200万円位と聞いています。

▼GPSを利用して安全かつ効率的な農作業を



次世代農業を目指す若い後継者の意欲の向上にもつながる技術だと思えますが、導入のためには圃場の大区画化と農地の土壌診断を同時に進めていくことも大切であります。導入にあたっては試験的なこ

とや置戸の農業にとつての有効性など、導入時期を見極める必要があると思えますが、前向きに取り上げて関係機関のご意見もいただきながら検討したいと思えます。

委員会の活動状況

平成26年4月下旬から
平成26年7月中旬まで

議会運営委員会

【6月9日】

▽議員協議会の開催依頼につ
いて（町長提案）

【6月11日】

▽第4回置戸町議会定例会の
運営等について

【7月1日】

▽第5回置戸町議会臨時会の
運営等について

総務常任委員会

【5月21日】

▽今後のゴミ処理の見通しに
ついて

▽置戸町ホームページの点検
見直し状況について
▽平成26年度の地方税法の主
な改正内容について

【6月24日】

▽新規住宅の固定資産税につ
いて
▽両老人ホームの現状につ
いて

▽町民健診受診率向上策につ
いて

議員協議会

【6月9日】

▽置戸中学校耐震補強及び大
規模改修工事にかかる財源
の変更について

▽置戸浄化センター改築更新
工事にかかる事業費の経緯
について

議会広報特別委員会

【7月10日】

▽議会広報第170号のクリ
ニックと第171号の編集
について

議員定数に関する特別委員会

【5月21日】

▽議員定数について

【6月24日】

▽議員定数について

議会活性化委員会

【7月9日】

▽議会懇談会（置戸地区）

【7月10日】

▽議会懇談会（勝山地区）

【7月14日】

▽議会懇談会（境野地区）

【7月15日】

▽議会懇談会（秋田地区）

お金のかからない政治のために、
寄付禁止のルールを守りましょう。

**あげず、
もらわず、
もとめず。**

あとがき



集団的自衛権の問題や武器
輸出問題等の与党国會議員へ
の批判、地方議會議員という
くくりでは「ヤクハツやじ」
「立会員」「タクシーへの蹴
り」…議員の資質低下がひど
いと言われています。

置戸町議会も来年の改選に
向けて「議員定数に関する特
別委員会」を設け、町民皆さ
んの意見をお聞きし、9月定
例会を目的に結論を出すべく
議論を続けているところだ
が、議員定数、非常に難しい
問題です。「三元代表制」「議
会とは言論の府」「これは勿論
のことではありますが、町民皆
さんの付託に答えられている
のかな?と。様々なご意見が
あると思います。

最終的に決めるのは我々議
員の責務ですが、「資質の低
下」と批判されることなく、皆
さんの多くのご意見をいた
だき、結論を出したいと思っ
ています。
(右藤孝一)

議会を傍聴してみませんか？

議会のうごきをあなたの目と耳で!!

- ◇ 定例会は、3月・6月・9月・12月の4回開かれます。
- ◇ 臨時会は、必要の都度開かれます。
- ◇ ホームページ <http://www.town.oketo.hokkaido.jp>